

病害虫防除技術情報 第10号

平成30年10月1日

三重県病害虫防除所

**シロイチモジヨトウの誘殺数が急増しています。
特にネギ類では注意が必要です。**

1. 対象作物： 野菜類（ネギ類、アブラナ科野菜類、果菜類）、ダイズ、花き類

2. 対象病害虫名： シロイチモジヨトウ

3. 発生状況

(1) フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）の調査によると、9月第5半旬の誘殺数は85頭（（平年：15.9頭）と急増しました。これは平年のおよそ5.3倍にあたる誘殺数です。（（図1）

(2) 病害虫防除所の9月巡回調査結果では、ネギほ場におけるシロイチモジヨトウの発生ほ場率は約50%でした。

(3) 1ヶ月予報（名古屋地方気象台 9月27日発表）によると、気温が高い見込みと予報されており、平年よりもシロイチモジヨトウの発生に好適条件となることが予想されます。

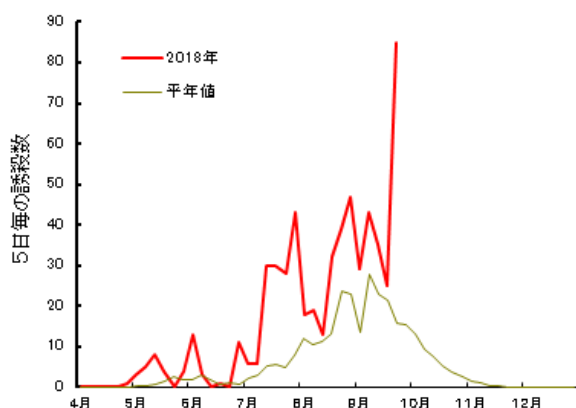


図1 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）



図2 ネギでの被害状況

4. 防除対策

(1) 老齢幼虫になるに従って薬剤の防除効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除するとともに、同一系統の薬剤の連続使用は避けてください。

(2) 野菜類では、果菜類の果実内部やネギ類では葉身内部に侵入し食害されると防除が困難になるとともに、被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。

(3) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、農薬の適用に従って防除してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。